

「災害に備える会」は下記の通りスタッフ訓練を行いました。

11月度訓練結果報告書

平成22年12月5日
「災害に備える会」

開催日時 11月27日（土）10：00～11：30
会場 金沢消防署 幸浦消防出張所
訓練対象者 「災害に備える会」委員
訓練内容 消火器操作訓練、ロープ取扱い訓練、三角巾使用訓練
参加者 「災害に備える会」委員 計16名

訓練要旨

- 1、9時30分集会所に集合、徒歩にて会場へ、予定時間10分前に到着、即訓練開始。
- 2、奥上所長より挨拶と今回はリーダーとなるための訓練として行うとの説明あり。
- 3、消火器操作訓練
消火器の種類（対応火災：一般火災用、電気火災用、油火災用）。
消火器にはその能力（放出時間、放出距離等）が表示されているので、普段から確認しておく。
消火器の構造説明。
消火の原則（酸素を断つ、温度を下げる、燃焼物を除く）の説明。
訓練内容
火元から6m離れた場所に引かれたライン上で、①退路確認、大声で火災発生を知らせる
消火器の安全ピンを抜き、ホースを外し目標にホースを向け ②3m地点に引かれたライン上で放出レバーを握り、火元をめがけて消火剤を放出しながら接近する。
- 4、ロープ取扱い訓練
階上より避難することを想定して4m余12φのロープの手摺等への結び方法及び降りる際の手を掛ける拳をロープに1度に数ヶ所結べる方法等の訓練を受けた。
- 5、三角巾使用訓練
三角巾の体への結び着けと簡単に解く方法及び代表的な怪我となる骨折時の腕の固定方法の訓練を受けた。
- 6、質疑応答
Q、ロープの太さは
a、12mm程度が望ましいが、ロープの質、耐力等能力も事前に確認しておく。
Q、避難梯子があるが
a、避難梯子の利用を勧める。ロープは補助的な物として操作法を知っておいた方が
良い。
- 7、訓練後、集会所にて受講された各位に感想意見交換をおこなった。
 - 1、ブラウンハイムでは、避難梯子があるのでロープを使用しての避難は考えない。
受講した訓練内容は知識として会得するにとどめる。
 - 2、現状、避難梯子の体験訓練を行っていないので、全員が体験することを検討する。
 - 3、三角巾は他の利用法（止血、頭部負傷等）の訓練も受けたい。
 - 4、消火器の操作訓練は勉強になった。
消火器の能力、避難のタイミング等の訓練を今後の居住者全体訓練で実施する。

以上

【お知らせ】

「災害に備える会」では来年の2月27日（日）に居住者全体訓練を計画しています。
多数の皆様の参加をお願いします。
詳細については、来年1月にお知らせいたします。